

心に残る文化財子ども塾 奥出雲町立阿井小学校

1. 活動の概要

5月18日(月)、奥出雲町立阿井小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに県埋蔵文化財調査センターの職員から、奥出雲町や小学校周辺の縄文時代や弥生時代の様子について話を聞きました。まず、スクリーンに遺跡の位置を示した地図が映し出されると、自分たちの住む町に予想をはるかに超える数の遺跡があることを知った子ども達はとても驚いた様子でした。続いて縄文時代と弥生時代の暮らしについて説明を受けた後、町内で出土した本物の土器に触れて詳しく観察し、古代の人々の技術に感心した様子でした。

次に、土器の作り方や文様の付け方の説明を受けて、土器作りに挑戦しました。土器作りは思ったより難しく、なかなか形にならず児童達は苦労しましたが、最後には全員が独創的な土器を完成させました。授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史への興味が高まった様子でした。

2. 活動の様子

1)奥出雲町や阿井の縄文・弥生時代の様子について学ぶ



「奥出雲町には約640か所遺跡があります」



間近で見る本物の土器に興味津々の児童達

2)古代体験活動～土器作り～



粘土のひもを積み上げて形を作っていきます



だんだん形が出来てきました



古代人と同じ道具を使って文様を付けます



今回は独創的な土器がたくさんできました

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・阿井にたくさん遺跡があることを知って驚いた。身近にも歴史のものがあるというのはうれしい。
- ・実際に出土した物をさわったり見たりしてみると、縄文人は頭がすごく良かったことが分かるので楽しかった。
- ・本物の土器を見た時、結構大きくてすごかった。
- ・集中して土器作りをしたので、あっという間に終わった気がした。もっと土器をたくさん作りたい。
- ・はじめて土器作りをして、やさしく教えてもらって上手に土器が作れた。
- ・縄文や弥生時代の人達が、こんなふうには土器を作っていたことが分かったし、オリジナルの形や模様ができた。
- ・歴史の話はとても面白くて、もっといろんなことを聞いてみたい。
- ・遺跡や土器を発掘してみたい。
- ・縄文人たちが食べていた物をたべてみたい。
- ・縄文・弥生時代の家や道具、古墳時代の古墳を作ってみたい。

2)担任の先生から…

- 地域の遺跡や発掘物を基にした具体的な話で児童の興味が高まった。
- 子供たちの思いが高まる体験活動と準備物があり、個々の児童の活動が十分に保障されていた。
- 児童が粘土による土器制作に、とても熱心に取り組んでいたことが良かった。
- 丁寧に時間をかける活動なので、たくさん学校には当たらないというも分かったが、より多くの児童が体験できると良いと思う。

3)埋文センターから

学校の周辺や自分達の家付近にも遺跡があることを知った児童のみなさんは、歴史への興味が高まったようでした。自分たちの住む町に豊かな文化遺産があることを知るきっかけになったのではないのでしょうか。また、実際に遺跡からの出土品を観察して、土器の大きさや丁寧なつくり等本物の迫力を感じた様子でした。

土器作りでは、形を作るのに予想以上に時間がかかりましたが、みなさん非常に集中して取り組んだので、最後には独創的な土器が次々に完成しました。

いただいたアンケートでは、児童たちは授業で扱った縄文・弥生時代の暮らしや、さまざまな時代の歴史に興味を持ったようです。これからも自分で調べたり大人に聞いたりしながら、自分達の住む地域の歴史に関心を持ち続けてほしいと思います。